

2019年1月9日
株式会社乃村工藝社

『鈴木敏夫とジブリ展』開催のお知らせ 神田明神文化交流館「EDOCCO」にて開催

乃村工藝社の主催事業として実施する、『鈴木敏夫とジブリ展』が、2019年4月20日（土）～5月12日（日）の23日間（※会期中無休）、神田明神に新設された文化交流館「EDOCCO」内の神田明神ホールおよびその周辺エリアにて開催されます。

<過去開催「言葉の魔法展」の様子>



特設サイト：<http://ghibli-suzuki.com/>

「鈴木敏夫とジブリ展」は、国内外問わず多くのファンを持ち愛され続けるジブリ作品を手掛けてきた、スタジオジブリの敏腕プロデューサー鈴木敏夫氏の“言葉”に注目した展覧会です。一昨年の広島（筆の里工房）を皮切りに、昨年、名古屋（松坂屋美術館）と、金沢（金沢21世紀美術館）で開催され、好評を博した「スタジオジブリ 鈴木敏夫 言葉の魔法展」を元に、さらにジブリの魅力を詰め込みバージョンアップ。会場には、鈴木敏夫氏が書き下ろした書やイラストをはじめ、新たな時代へのメッセージを来場者に投げかける特別企画や、本企画展の会場となる神田明神とジブリのコラボレーショングッズの販売も予定しています。

<鈴木敏夫氏による揮毫の様子>

作品の世界観をより多くの人に伝えるため、監督の意図を汲み作品と真摯に向き合うことで、その本質を「言葉」にして伝えてきた鈴木敏夫氏。その力強い“言葉”をみただけで、きっと誰しも心に残る名場面を鮮明に思い出すとともに、ジブリの世界観に強く引き込まれるでしょう。高畑勲、宮崎駿両氏と出会って40年、「風の谷のナウシカ」や「千と千尋の神隠し」、そして「風立ちぬ」、「かぐや姫の物語」まで、ジブリはどこから始まりどこへ向かうのか。展示では、鈴木氏による書やジブリ作品の資料を用いて、鈴木敏夫氏の「原点」から「今」を紹介することで、スタジオジブリの秘密に迫ります。



撮影：山本 彩乃

なお、会場の神田明神文化交流館「EDOCCO」は、当社が施設プロデュースを担当させていただきました。「伝統と革新」というコンセプトのもと、伝統を継承し新たな文化を創出することを目指した文化施設です。今回の『鈴木敏夫とジブリ展』が当施設ではじめての大規模な展覧会開催となります。

■ 開催概要

名称：鈴木敏夫とジブリ展
会場：神田明神 文化交流館「EDOCCO」内 神田明神ホール <御茶ノ水駅 徒歩 5 分/秋葉原駅 徒歩 7 分>
会期：2019 年 4 月 20 日（土）～ 5 月 12 日（日） ※計 23 日間、会期中無休
時間：10：00～18：00（最終入場 17：30） ※営業時間は今後変更になる可能性があります。
主催：株式会社乃村工藝社
特別協力：株式会社スタジオジブリ
入場料：未定 ※詳細が決まり次第お知らせいたします。
お問い合わせ：ghibli-suzuki@nomura-g.jp（一般問い合わせ用窓口）

■ 前売券について

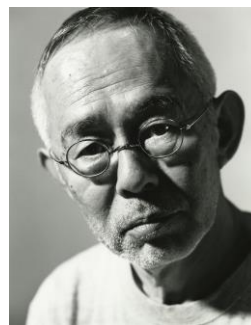
2019 年 2 月 10 日(土)より、ローソンチケットにて前売券の販売を開始予定です。前売券をお買い求めの方限定で、数量限定のオリジナルグッズ付きチケットも販売予定です。

価格や特典についての詳細は近日、当ホームページ他にてお知らせします。

■ 鈴木敏夫氏プロフィール

1948 年、名古屋市生まれ。

慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店入社。『週刊アサヒ芸能』を経て、『アニメージュ』の創刊に参加。副編集長、編集長を務めるかたわら、「風の谷のナウシカ」「火垂るの墓」「となりのトトロ」などの高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。1985 年にスタジオジブリの設立に参加、1989 年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品のプロデューサー。現在、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。著書に『仕事道楽 新版 スタジオジブリの現場』（岩波新書）『ジブリの哲学—変わるものと変わらないもの—』（岩波書店）『風に吹かれて』（中央公論新社）『ジブリの仲間たち』（新潮新書）『ジブリの文学』（岩波書店）『人生は単なる空騒ぎ—言葉の魔法—』（KADOKAWA）『禅とジブリ』（淡交社）『南の国のカンヤダ』（小学館）などがある。



撮影：荒木経惟

[本件に関するお問い合わせ]

「鈴木敏夫とジブリ展」広報事務局（株式会社プラップジャパン内）中野・須藤
TEL：03-4580-9101 FAX：03-4580-9127 MAIL：ghibli-suzuki.pr@prap.co.jp

[乃村工藝社に関するお問い合わせ]

株式会社乃村工藝社 コーポレート本部 広報部 担当：山崎
TEL：03-5962-4361 MAIL：prs@nomura-g.jp